



直近の動向

6月初めに米雇用統計が予想を下回る結果だったことや欧州債務危機が世界の経済成長を鈍化させるとの懸念から、対円で各国通貨とも大幅下落。中旬にかけて下落の反動やユーロ圏の鉱工業生産指数が堅調だったことを受けて、欧州経済への不安が後退し、一時回復したが、米不動産関連指標が予想外に悪化したことやFOMCが欧州債務問題の米国への波及する可能性に言及したこと、29日には国際決済銀行が欧州の金融機関の経営への不安を示したことなどが重なり、リスク回避の動きが加速、円が買い進められ、月末には対円で各国通貨とも大幅下落となった。

ブラジル

9日に政策金利を10.25%に引き上げ。8日に発表された第1四半期のGDP成長率は前年同期比+9.0%と1995年以来の高成長となり、前期比も+2.7%と4期連続のプラスとなった。景気回復が明確になるなかで、インフレに対する懸念が増大している。好景気や高金利は通貨レアルの追い風となるとされているが、財政赤字の拡大や大統領選挙への警戒は必要と思われる。

南アフリカ

スタジアム建設等W杯関係プロジェクトが完了し、全業種の雇用者が急激に減少。現在公表されている失業率は25.2%だが、今後、上昇してくると見られている。17日に発表された4月小売売上高が事前予想を上回り、景気は好調をキープしているかに見えるが、どの程度W杯特需が上乗せされているのか注意が必要。今後、国内の消費行動は抑制される可能性があるとの見方も。

トルコ

18日に政策金利を7.00%に据え置き。(中銀は5月より政策金利を翌日物レポレートから7日物レポレートに変更し、5月に6.50%から7.00%に引き上げた。)30日に発表された第1四半期GDP成長率は前年比+11.7%。昨年同期が-14.5%という大幅なマイナス成長であった影響で高成長となった。しかし、経常赤字が急拡大しており、1~4月で前年同期に比べ300%の上昇となっている。

メキシコ

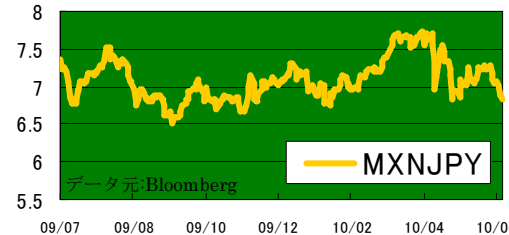
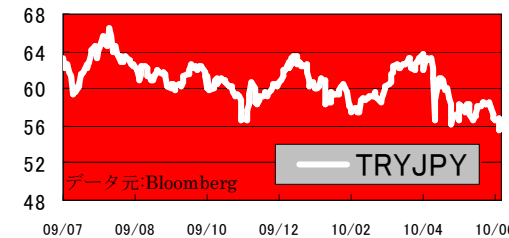
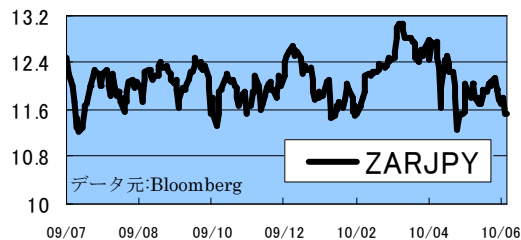
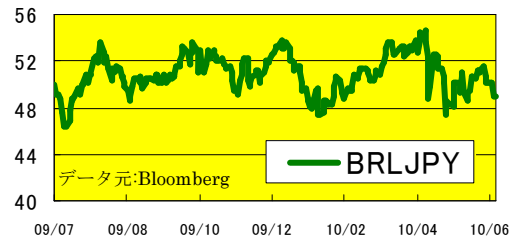
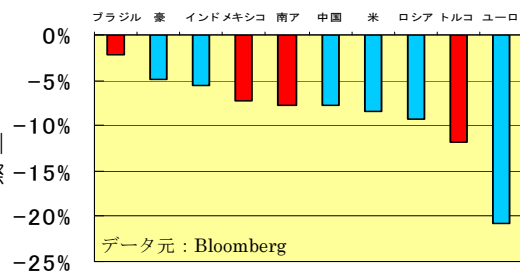
18日に政策金利を4.50%に据え置き。輸出が2ヶ月連続で40%台の伸び、製造業輸出が引き続き景気回復を牽引。失業率が改善し、内需見直しには明るい材料。麻薬関連事件は市場では重要視されてこなかったが、州知事選の有力候補者が暗殺された事件は投資家にとって今まで以上の懸念となると見られ、ペソの下落につながった。また、米景気の減速懸念の影響からも大きく値を落とした。

為替レート見通し



対円 (JPY)	10/07	10/10	11/01	11/07
米ドル (USD)	87	89	90	92
ブラジルレアル (BRL)	49	53	54	56
南ア・ランド (ZAR)	11.3	11.6	11.8	12.2
トルコリラ (TRY)	55	58	58	59
メキシコペソ (MXN)	6.73	7.09	7.21	7.34

エマージング通貨の対円騰落率 09年7月1日~10年6月30日



この資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした2010年7月1日現在の当社の意見になります。また、当社が信頼できると考える情報源から得たデータに基づき作成しておりますが、その情報の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。

店舗案内

本社 :
東京都中央区新川
一丁目21番2号
茅場町タワー
TEL: 03-5541-7887

京都支社 :
京都市中京区烏丸通
錦小路上手洗水町
659番地 烏丸中央ビル
TEL: 075-222-1001

大阪支店 :
大阪市中央区南船場
一丁目18番17号
商工中金船場ビル
TEL: 06-4705-6701

名古屋支店 :
名古屋市中村区名駅
三丁目22番8号
大東海ビル
TEL: 052-564-0051

札幌支店 :
札幌市中央区
北一条西二丁目1番地
札幌時計台ビル
TEL: 011-221-1375

越谷支店 :
埼玉県越谷市赤山本町
2番14号
越谷駅西口TRビル
TEL: 048-967-6011

宝塚支店 :
兵庫県宝塚市逆瀬川
一丁目11番1号
アピア2
TEL: 0797-77-7751